

ひまわり7号の気象ミッション待機運用の開始について

今年2月18日に打ち上げられたひまわり7号については、これまで軌道上にて機能確認試験を行って参りましたが、現在までに所定の機能確認がほぼ終了したことから、9月4日から東経145度の静止軌道上で気象ミッションの待機運用を開始することとしますので、お知らせいたします。

ひまわり7号の待機運用開始後は、万一ひまわり6号に障害等が発生し、長時間画像の取得等が不可能になった場合でも、復旧までの間はひまわり7号が観測機能を代行することが可能となります。

なお、ひまわり7号の観測機能は常時電源オンの状態ではないため、画像の取得開始までには2～3時間程度の準備時間を要します。

【本件に関する問い合わせ先】 観測部気象衛星課
(内線 2273)

【参考】

1. ひまわり6号の観測画像が長時間取得できない場合の画像配信

ひまわり6号の画像配信機能には問題がない場合	ひまわり7号により観測した画像を、ひまわり6号により配信(中継)
ひまわり6号の画像配信機能も使用不能の場合	ひまわり7号により観測した画像を、地上回線により配信

2. ひまわり7号の観測画像を利用する場合の留意点

東経145度の赤道上空から観測した画像を、以下のように提供する。

小規模利用局(SDUS)向け及び気象庁ホームページ	ひまわり6号の静止位置である東経140度からの画像にデータ変換して提供
中規模利用局(MDUS)向け	東経145度からの画像データのまま提供